

2026 年 7 月 22 日
株式会社ウチヤマホールディングス

取締役会の実効性の分析・評価結果の概要

1. 取締役会の実効性に関するアンケートの概要（集計、分析、評価の方法）

当社取締役会は、取締役会の全メンバー（取締役 4 名及び監査等委員である取締役 4 名）に対するアンケートを実施し、2026 年 3 月期の当社取締役会の実効性の分析・評価を行いました。アンケート結果につきましては 2026 年 7 月 22 日開催の取締役会において報告し、分析・評価結果についての議論を行っております。

【設問項目】

1. 取締役会の運営について

- ①開催頻度②所要時間③議事進行④資料構成⑤各議案の説明⑥議論・意見交換の充実⑦情報提供

2. 取締役会の議題について

- ①議題選定②定例報告の頻度及び内容（業務執行状況報告）③定例報告の頻度及び内容（リスク管理）④定例報告の頻度及び内容（委員会）

3. 取締役会の機能について

- ①戦略的議題の議論の充実②適切なリスクテイクを支える環境整備③多角的かつ十分な議案の検討④取締役会の構成（知識・経験・能力等）⑤取締役個人の自己評価

4. 取締役会の構成について

- 取締役会メンバーのバランス、多様性、規模

2. アンケートの分析・評価結果の概要

2026年3月期の評価においては、アンケートの分析結果及びそれに関する取締役会での意見交換を踏まえて、当社の取締役会はその役割を適切に果たし、取締役会の実効性は確保できているものと分析・評価をしております。

1. 取締役会の運営について

取締役会では開催頻度や時間は適切に運営されており、議事進行または各議案の説明は十分になされているものの、さらなる議論・意見交換の充実や詳細な情報提供について課題があると考えられる。

2. 取締役会の議題について

議題の選定及び業務執行状況、定例報告の頻度及び内容については適切に行われている。リスク管理および委員会については適切に行われているものの、さらなる改善の余地はあると考えられる。

3. 取締役会の機能について

取締役会では戦略的議題の議論や多角的な検討は適切に機能しているものの、個人の自己評価またはリスクテイクを支える環境整備においては更なる取締役会としての機能の充実を図る余地はあると考えられる。

4. 取締役会の構成について

取締役会の規模・構成については、取締役4名（いずれも監査等委員でないもの）及び常勤取締役1名、社外取締役3名（いずれも監査等委員）となっており、規模・構成ともに適切であり、専門性の高い経験・見識を持つ役員がバランスよく配置されているものの、スキルマトリックスの定期的な見直しや多様性確保においては改善の余地はあると考えられる。

3. 今後の対応、課題解決の取組みについて

今回の分析評価結果は、2027年3月期の取締役会の運営課題として対応していくと同時に、改善の余地があると考えられる議論の具体化、活発化をはかり、中長期的な課題についても取締役会で積極的な意見交換等をおこなっていくことと致します。また、当社取締役会は、取締役会の監督機能及び意思決定の機能向上を図るべく今後も継続的に取締役会の実効性評価を行っていく予定です。

以 上